

天明浅間焼けの熔岩

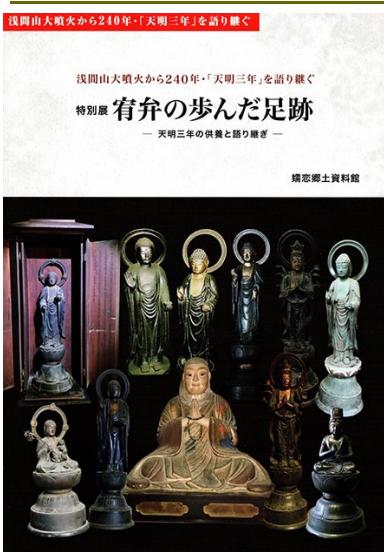
「宥弁の歩んだ足跡」特別展の開催	P-1
令和4年度村民教養講座の開催	P-1
山崎一也氏 赴任	P-2
「郷倉」整備事業	P-2
令和4年度鎌原地区発掘調査 現地説明会開催	P-3
連載(8) 嫁恋村の文化財 熊四郎洞窟	P-4
お知らせ	P-4

編集 嫁恋郷土資料館友の会 2022年12月発行 第36号

嫁恋郷土資料館友の会だより

嫁恋郷土資料館「友の会」（宮崎光男会長）では、新型コロナウイルス感染流行の中、感染防止対策を注意深く行いながらの企画、活動を進めてまいりました。今回の「友の会だより」第36号ではイベントや活動の近況をダイジェストとしてご紹介いたします。

「宥弁の歩んだ足跡」-天明三年の供養と語り継ぎ-特別展が開かれました



2022年8月5日（金）～19日（金）に嫁恋郷土資料館にて天明三年災害供養の仏像展「宥弁の歩んだ足跡」が開かれました。天明2年、群馬県吾妻郡東吾妻町原町にある顕徳寺の高雲院宥弁により、吾妻・群馬・碓氷の3郡を中心とする新四国八十八か所が開創されました。その翌年起こった浅間山噴火災害の慰靈と供養のために、江戸神田の鋳造師多川主膳に金銅仏像の制作を依頼、これをもって犠牲者の慰靈、災害の安静化を願い各お寺での回向と供養の活動を続けたと言われています。天明の噴火災害から240回忌を迎える本年、宥弁坐像をはじめとする計11体の仏像が一同に会することになりました。多くの方々の参観をいただきました。開催には各関係者並びに共催：浅間山ジオパーク推進協議会、後援：鎌原区、鎌原観音堂奉仕会より多大なご協力をいただきました。

令和4年度村民教養講座が開講されました

嫁恋会館3階にて令和4年度村民教養講座が開講されました。

「近世の災害発生と近代復興」

2022年7月16日（土）13:30より

講師 元国立歴史民族博物館客員教授・立命館大学歴史都市防災研究所客員研究員 北原 糸子先生
天明三年浅間災害・関東大震災についての分析を通して、災害史から学ぶべきことを講演頂きました。

「宥弁の事業を語り継ぐ」

2022年8月6日（土）13:30より

講師 玉村町教育委員会 文化財係長 中島 直樹 先生

「宥弁の歩んだ足跡」特別展の足跡調査を進めてきた経緯や新たな課題についての解説を頂きました。

「鎌原観音堂石段発見の遺体を科学する」2022年10月8日（土）13:30より

講師 棍名荘病院 院長 笛木 敬介 先生

脊髄・脊椎病の最先端医学がご専門の整形外科医の立場から、石段の2人の遺体について、情報を解説頂きました。

新しく山崎一也氏が赴任されました



令和4年10月1日付けにて嬬恋郷土資料館に配属されました山崎と申します。

はじめての仕事内容で不安や戸惑いがありますが、この2ヶ月で友の会役員会において嬬恋郷土資料館の仕事内容等をご教示いただいた他、ガイド会の皆様のご協力により、鎌原地区発掘調査現地説明会が無事に開催することができました。現在、嬬恋郷土資料館は増築工事のため休館中ですが、春のリニューアルオープンに向けて皆様のご指導とご協力を賜り日々精進してまいりたいと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。

(山崎 一也氏記)

「郷倉」保存整備事業が進んでいます

「鎌原の郷倉」は嬬恋村鎌原地区の鎌原神社境内の一角にある小さな倉庫です。天明3年(1783)年の浅間山大噴火による鎌原村埋没以降に建築され、鎌原村の穀物などを蓄えるために利用されてきました。平成19年に嬬恋村指定重要文化財に指定され、壊滅的に被害を受けた鎌原村の復興の象徴として、今もなお利用され親しまれています。この郷倉は、屋根や壁の老朽化が進み、令和2年度より鎌原区による保存整備事業が実施されると同時に、「鎌原の郷倉」という地域の宝を「守り・育て・伝える」ため、嬬恋村では鎌原の



郷倉保存活用計画を策定しました。令和3年度より行われた修復工事では、土台から井籠組の板壁や小屋組み等を、損傷・汚損がないように注意しながらすべて解体し、部材ごとに可能な限り旧部材を使用し、破損部分は従前の仕様を踏襲し最小限の繕いを原則とし組み立てを行いました。この郷倉を次世代まで大切に守っていく試みとして、できる限り地域の手により創建当時の状況を再現するため、令和2年と3年の11月には2年にわたり地元鎌原区の皆さんによる茅刈体験を実施しました。そして、刈り取った地元産の茅を屋根の葺き替え材として用いました。また、今年9月には、鎌原地区にて採取した壁土を主に使用し、地元小中学生を中心に壁塗り体験を行い、多くのみなさんのご協力により12月には修復作業も完了の予定です。修復作業の完了した「鎌原の郷倉」をぜひ見に来てください。

※ 令和5年3月までは、塗ったばかりの土壁を雪から守るため、壁に簡易的な覆いを掛ける予定です。

令和4年度鎌原地区発掘調査の現地説明会が開催されました

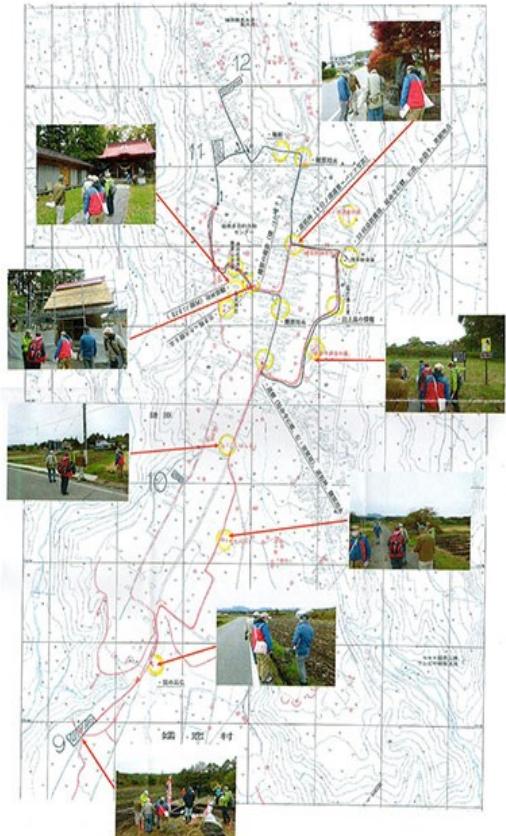
2022年11月12日（土）、15日（火）午前、午後計4回、令和4年度鎌原地区発掘調査の現地説明会が開かれました。鎌原地区から芦生田へ向かう小熊沢そばにある「押しきっぱ」発掘現場にて関郷土資料館館長の「天明鎌原土石なだれ」についての解説及び見学、その後ボランティアガイドの案内による鎌原地区の村巡り、災害の爪痕や復興の足跡をたどりました。生々しい発掘現場に直に接し、あらためて天明災害の規模に驚きを隠せませんでした、今後も災害の詳細を解明しつつ防災・減災計画に生かしていかなければと感じました。遠くは、東京・横浜・新潟・宮崎から来られた方々、また様々な分野の方々を含め計90名の参加をいただき、今回の発掘調査に対する関心の深さがうかがえました。



お世話になりました

2年目を迎えた鎌原地区の発掘調査は11月22日をもって無事終了しました。今回の調査成果は、鎌原を襲った土砂の動きが見えてきたということと、噴火前夜（8月5日の埋没直前の期間）の人びとの動きが、火山灰と軽石により発掘調査で見えてくるかもしれないという手ごたえが得られたことだと思います。詳しくは、来年6月の発掘調査連絡会までに集約してみたいと考えています。加えて、ガイド会の皆さんによる鎌原地区のガイドツアーが好評だったことが今回の成果でした。遠方から来られた方々に、「また、訪ねてみたい」と思ってもらえたからありがたいことです。協力くださったガイド会の皆さん、お疲れさまでした。国内にはいくつも「日本のポンペイ」を冠している場所があります。その代表選手として、来訪される皆さんに「フィールドミュージアム」として見てもらう場所づくり・観方のヒントが思い浮かんできた気がしています。皆で話題にしていけたら、と改めて思っています。火山災害からの復興を成し遂げた鎌原は、災害からの語り継ぎが途絶えることなく続けられている場所です。先日の毎日新聞【余祿】では、「災害国・日本が継承すべき貴重な歴史と教訓」（2022・10・30）と評されています。

（館長 関 俊明氏記）



斜線部分（番号9, 10, 11, 12）4カ所
が本年度発掘調査地点です

連載(8) 嫁恋村の文化財 熊四郎洞窟（村指定 史跡）



万座温泉がまだ世に知らない昔の事、鹿や熊を求めて狩りをする者だけが、時々この奥地に踏み入り、泊まる宿とてないので、天然の洞窟を頼りにねぐらとすることもあった。ある日のこと、干俣の猟師がいつものように、「熊」と「白」の二匹の犬を連れてやってきた。獲物を追って駆けずり回っているうちに、日は西に傾き、夜のとばりがおりてきたので、いつものように、この岩窟に泊まることにした。ところが急に連れてきた二匹の犬が、けたたましく吠え出したのである。叱ってはみたが、ます

ます吠え続けるので、猟師は眠ることもできずもて余し腹立ちまぎれに、山刀を抜いて、二匹の首を切ってしまった。二つの首は見る間に空に飛び上がった。猟師は驚いてその方向を見ると、猟師の頭上からねらつていた大蛇の首に、ガブリとばかりに噛み付き、間もなく大蛇は息絶えた。猟師は今さらのように驚き、自分を救ってくれた二匹の犬の忠死を深く惜しんだ。猟師は長年仕えた二匹の熊と白の名前を後世につたえて、せめてもの靈を慰めたいと、この岩窟「熊四郎岩窟」と呼ぶようになったという。

(嫁恋村観光商工課編 万座エリア案内より転載加除させていただきました)

おしらせ

・「浅間山大噴火から240年」企画展・講演会のご案内

県内外の17の機関で賛同をいただき、浅間山天明の噴火に関する展示・講演会等が各機関で開催されています。令和5年に予定されています「浅間山大噴火から240年」企画展・講演会のご案内です。

企画展：令和4年12月10日から令和5年2月5日 「浅間山噴火に伴う下仁田町への影響」下仁田町歴史館

令和5年3月15日から6月25日「浅間泥流に埋もれた暮らし（仮）」渋川市北橋歴史資料館

令和5年3月4日から7月9日 「収蔵資料でふり返る上州・群馬の災害」群馬県立文書館

令和5年5月4日から5月7日 「天明三年浅間山噴火 その時安中地域は」安中市ふるさと学習館

令和5年6月16日から8月27日「伊勢崎藩を救え！浅間山天明噴火」伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館

講演会：令和5年7月末定 13:30から「未定」伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館

令和5年春から夏頃 「天明泥流とはなんだったのか、災害を考える」東吾妻町教育委員会

本年も皆様方の多大なご協力により「友の会だより」の発行を無事に行うことが出来ました、厚く御礼申し上げます。新年を迎えるにあたりまして皆様方のいっそうのご多幸をお祈り申し上げます。